

「目標から逆算する力」

校長 山川 肇

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。新しい年が始まりました。なんでもそうですが、新しいことが始まる時というものは、何か新鮮で期待感があつていいものですね。今年も、素晴らしい1年になるよう、頑張りましょう。

2学期終業式で私が話した内容を覚えていますか？短い冬休みですが、みなさんに1つだけ絶対にやって欲しいことを話しました。「いい準備をしましょう。特に気持ちの準備をしましょう。」3学期はみなさんにとって今の学年の締めくくりとなる期間です。同時に、4月からの新しい環境、新しい学年に向けての大変な準備期間です。“勝負を決めるのは準備。なかでも気持ちの準備以上のものはない！”まだ準備ができていない人は、今からでも遅くありません。自分としっかり向き合い、いい準備をしましょう。

新学期にあたり、以前あるスポーツ番組で観た話を紹介します。タイトルは“一流のアスリートが引退後、一流企業に就職・・・。”最初目にした時、スポーツ一筋だった人が、畠違いの企業でやっていけるのかと思いました。正直、一流企業＝勉強して優秀な大学を卒業した人が入るところというイメージがぬぐえない昭和生まれの私にとって、大変意外なタイトルでした。しかし、番組を観ると、納得できました。なぜ、元スポーツ選手が一流企業でやっていけるのか？それは、選手時代に培った“目標から逆算して努力できる資質”があるからだそうです。例えば陸上トラック種目のアスリートなら、自分の目標タイムを設定し、それをクリアするために日々のトレーニングをこなす、その繰り返しで培った能力は、ビジネスの世界で目標を変えてもその目標に向けて努力できる資質が身に付いている為、通用するというのです。

昨年10月の朝会において、3年生に向けて話をすることもう一度話します。

～“夢”というのに日付を入れた瞬間、それは“計画”となる～

何事も大きなことを成し遂げるためには、そのゴールに向けての計画が勝敗を分けます。今3年生のみなさんが見ている夢は、幼い頃、「大人になったら〇〇になりたい」といったような夢とは違います。今思い描いているのは、来春4月からの自分の居場所です。これは、現実的な“夢”であり、言い換えれば“目標”です。これを実現するためには、精神力が必要です。ここで難敵となるのが、自分の弱い怠け心というものです。漠然とした計画だと、その怠け心に負けて結局計画倒れとなり、焦りが生じて自分を追い詰めてしまいます。だからこそ、いつまで（日付）にこの問題集を1冊仕上げる、そのためには1日〇ページこなす等、“目標から逆算した具体的な計画を立て、自分にノルマを課し、着実に実行する”しかないのでしょう。受験勉強は、確かに味気ないものかもしれません。こんなことをやっても将来役に立つか？と思うかもしれません。しかし、問題集の正解は1つです。いずれ社会に出ると、正解がいくつもある場面、もしくは正解がない場面にさえ出くわすものです。それと比べれば、正解が1つである受験勉強は、決して難しいものではない筈です。

“1年の計は元旦にあり”今回は、みんなの“計”の参考になるように、3年生だけでなく、1・2年生を含めた全校生徒に向けて、話しました。自分が目指すべきゴール（目標）を定め、そこから逆算して具体的な計画を立て、実行し、実りある1年にしましょう。

（令和8年1月8日 始業式校長講話より）



道徳授業地区公開講座&鎌水中カフェ
道徳教育の充実・鎌水中学校地域協働本部の活動



↑コーヒーを片手に中学生のコミュニケーションについて協議

12月13日（土）、道徳授業地区公開講座を実施しました。2時間目は全学級で道徳科の授業公開、3時間目に協議会を行いました。今回の協議会は鎌水中カフェとの協働で、本校生徒が淹れたコーヒーを片手に、中学生のいじめにつながるようなコミュニケーションの課題について教員、保護者、地域住民のそれぞれの視点から意見交換をしました。「教室や家庭で、相手を大事にすることを考える」「よいコミュニケーションを褒める。クラス等、全体に共有する」等の意見が出ました。

放課後出張スポーツ(体育委員会と有志生徒)
生徒会活動の活性化



体育委員と有志生徒が鎌水小学校へ出張して、小学生とスポーツを楽しむ企画（やりみず会主催です）を今年度も行いました。今年度のメニューは「ふえ鬼（つかまると鬼になる）」と「だるまさんがころんだ」でした。今回は小学生から「中学生を追いかけたい」と要望が上がったので、初めて「鬼」になってもらいました。引率した教員は「鬼になった小学生のみんなが中学生をとても楽しそうに追いかけていました。」と話していました。

やりみずガーデン収穫(やりみずガーデンセンター)
鎌水中学校 2020 レガシー ボランティアマインドの育成

鎌水中学校地域協働本部「やりみずガーデン」の皆さんから、「やりみずガーデンセンター」に鎌水中学校の花壇で収穫した「里芋」をいただきました。後日、「おいしかった。」と報告してくれる生徒もいました。

やりみずガーデンの皆さん、ありがとうございました。



左：鎌水中学校で採れた里芋 右：里芋を受け取るセンター

※「やりみずガーデンセンター」・・・年間を通して、花壇に水やりをするボランティアです。令和7年度は46名が活動しています。

鎌水中学校は「対話de指導」



郷土学習「鎌水の魅力を多摩美大留学生に伝える」(1年生)

PBL(課題解決学習)×PBL(地域に根差した学習)

1年生が郷土学習で学んだ「鎌水の歴史・地理・防災・未来」について多摩美術大学から留学生を招いて発表をしました。今年度はアメリカ、セルビア、中国からの留学生でした。留学生の一人は「鎌水の全体像と新しいイメージが知ることができました。特に歴史と未来が好きです。駅あたりに『桑都』の看板を見たことがあります。由来を知ることができます。」と感想を話してくれました。

全体交流後は有志生徒が、中国からの留学生が考案した異文化コミュニケーションを促進するカードゲームを体験しました。



↑左:クラスでの交流 右:カードゲームを体験

リトルティーチャー 小中一体化の取組



12月22日(月)に有志生徒がリトルティーチャーとして鎌水小学校の「すごろくタイム」で児童に算数等を教えてきました。参加した生徒は「小学生と関わって楽しかった。」と話していました。3月にも実施する予定です。

評価評定の質問教室 学力向上の取組



12月25日(木)に学期末恒例となった評価評定の質問教室を行いました。

カジュアルウィーク

身の回りの課題に気付き、当事者意識をもって行動する力の育成



12月17日(水)～24日(水)までカジュアルウィークを実施しました。

生徒の振り返りを紹介します。

- ・標準服の必要性を考えた。
- ・私服で登校してみて、標準服で学校生活を送るときの気持ちが変わることが分かった。
- ・毎日の服を考えることで、コミュニケーションが増えた。
- ・気温によって服を快適に過ごせることが分かった。